

廃棄物計画におけるごみ問題に 関する調査研究報告書

平成 20 年 4 月

(社) 日本廃棄物コンサルタント協会
廃棄物処理計画におけるごみ問題調査研究専門委員会

目 次 案

はじめに	2
1. 研究の背景と目的	2
1.1 研究の背景	2
1.2 研究の目的	3
1.3 コンサルタントとしてのごみ問題についての提案	3
(1) 廃棄物処理事業とコンサルタント	3
(2) ごみ処理計画策定における地方自治体との役割分担	4
2. 現在の都市ごみ処理システムの現状	5
2.1 ごみ問題と社会構造	5
(1) ごみ処理の歴史	5
(2) 現在の廃棄物を取り巻く諸問題	10
2.2 地球環境問題とごみ問題	13
(1) 廃棄物と地球温暖化	13
(2) 廃棄物等に起因する温室効果ガスの排出削減	13
(3) 廃棄物の利用方法	15
(4) 地球温暖化対策における廃棄物の取扱い	15
(5) 新エネルギーとは	15
(6) 新エネルギーのメリット	16
(7) 廃棄物エネルギーの長所・短所	16
2.3 循環型社会とごみ問題	17
(1) 焼却熔融技術	19
(2) ごみメタン化技術	20
(3) プラスチックのリサイクル技術（出典：都市清掃 VOL58No. 263）	20
3. ごみ問題発生要因解析の手法	21
3.1 諸問題の洗い出し	21
(1) 一般廃棄物と産業廃棄物	21
(2) ごみ排出量の増加と質の多様化	21
(3) 有害廃棄物	22
(4) 最終処分場の逼迫	22
(5) リサイクルの現状と問題点	23
(6) “3つのR”	26
(7) ゼロエミッションとエコタウンプロジェクト	27
3.2 諸問題の類型化	28
3.3 解決策・提案の検討	28

4. ごみ問題の現状と類型化	29
4.1 発生抑制・排出抑制	29
(1) マテリアルリサイクルの優位性	29
(2) 発生排出抑制の方策と現実	29
4.2 収集運搬	29
(1) 収集運搬における手法と現実	29
(2) 空気輸送システムに関する問題	31
4.3 中間処理	32
(1) 新世代ごみ処理技術の動向と課題	32
(2) 施設整備に伴う諸問題	63
(3) サーマルリサイクルの現状と課題	71
4.4 資源化・リサイクル	78
(1) バイオマスのリサイクルに関する緒問題	78
(2) 資源化コスト、経済的インセンティブ	84
(3) 副生成物の有効利用に関する課題	96
4.5 最終処分	97
(1) 不適正処分場に対する今後のあり方	97
(2) 不法投棄に対する対策	99
4.6 その他の諸問題	100
(1) 一般廃棄物と産業廃棄物	100
(2) 事業系一般廃棄物	101
(3) 適正処理困難物や新たに発生する廃棄物のリサイクル	102
5. 循環型社会構築とごみ問題	104
6. コンサルタントの役割	105
7. おわりに	105